

対話の原点は こだますこと

水泳教室に通っていた5年生のA君が、
「お母さん、ぼくもう水泳を習うのしんどいからやめたい。」
と話しかけてきました。みなさんだったらどのような言葉を返しますか？

- ア 「そう。じゃあやめなさい。」
イ 「なに言ってるの。しんどいくらいがまんしなさい。だいたい水泳を習いた
と言ったのはあなたじゃないの。」
ウ 「そうなんだ。しんどいんだ。やめたいほどしんどくてたまらないんだね。」

A君にとってほっとする言葉は、ア か ウ でしょう。しかし、A君が安心して自分の気持ちを詳しく話したくなるのは ウ でしょうね。「しんどいからやめたい」という気持ちを共感的（まるごと）に受けとめてもらえたA君は、このあと自分の心を開いていきやすくなるはずです。このような雰囲気でお母さんとの対話を続けていくことができれば、最後はA君がお母さんの助言等も取り込みながら、自問自答（自己内対話）を行い、自分の考えを深めていくこともできるようになるはずです。何より、お母さんへの信頼が厚くなり、今後迷ったり、困ったり、悩んだりすることが出れば、お母さんに相談しようという気持ちを強く持つことになるでしょう。

金子みすゞの詩を発掘し、現在みすゞ記念館の館長を務めておられる矢崎節夫氏は、「共感的な聞き方によってのみ真の対話が可能」と力説されています。

人間関係希薄化の現象は、対話の乏しさとして表れています。TVやTVゲームへの依存度の高まりは、他者と交流し考えを深めようとする意識や態度を弱めています。現在のように児童・生徒が深い交流を避けるような傾向があるのは危険な兆候です。親子を子が親を、友達が友達を殺める。既にこのような信じがたい事件が多発しています。

だからこそ、対話の活動を活発にして子どもたちの人間関係を密にし、互いの思いや考えを共感的に受けとめ合い、思考を深め啓発し合う場をつくらなければいけないと思うのです。対話は、人間関係を深め、悩みや問題を解決し、新しい考えを創造していくことに大きな力を発揮します。

船越小学校が、本年度から国語科の授業を中心に「対話の実践的研究」に取り組んでいるのもそのようなことが背景にあります。6月には広島大学大学院教授吉田裕久先生をお招きし、対話力育成にかかわる理論研修の場を持ちました。そして先日は、5年3組で行われた「対話名人になろう」の授業提案を基に、対話力を育成するための効果的な指導方法について協議をしました。今後も研究テーマの具現化に向け、全学級で対話の授業を意図的・計画的に積み重ねていきます。国語科の授業で指導したことを他教科の授業や日常生活の中で活用、習熟させることでホンモノの対話力が身につくものと考えています。ご家庭でも意識的に子どもとの対話の場をつくり出すように努めていただければうれしいです。その際のキーポイントは「共感的に聞く」ことを意識することです。

話に花が咲く家庭になれば・・・家の中に庭が。

安全意識啓発マップづくりへのご支援、ご協力に感謝

保護者、地域の方たちの協力を得て、3学年以上の全学年で「安全意識啓発マップ」づくりに取り組むことができました。「入りやすく見えにくい場所」はどこか、などを中心に子どもの目で危険箇所を見つけることや、地域の方にインタビューをして危険箇所の情報を得るなどし、それをもとに地図をつくり、発表し合う活動を展開しています。これら一連の活動を通して子どもたちに危険回避能力を少しでも身につけさせることができると願っています。夏休み前には、海田警察署のご協力をいただき、安全についての学習も行う予定です。

環境浄化の日7月16日（日） PTA環境美化活動 8月19日（土）

7月16日（日）は船越地域の「環境浄化の日」です。自分たちが住んでいる町を、自分たちの手で美しくしよう！ という取り組みです。地域の方たちには、子どもたちの安全や学習支援等、いろいろなことで大変お世話になっています。このような機会に子どもたちが積極的に参加し、日頃のお礼も含めて地域に少しでも貢献できるようにかわっていくことは大切なことです。学校でも声かけを行います。どうか家庭でも子どもと一緒に参加し、きれいな町づくりにご協力ください。地域住民のふれ合いは、安全な町づくりの基盤です。お互いの顔を知り合うよい機会でもあるように思います。

あわせて、8月19日（土）に予定しておりますPTA主催「環境美化活動」へのご協力もよろしくお願いたします。

夏季休業中の階段等改修工事について（登校日中止等のお知らせ）

この夏季休業中に3カ所の階段、踊り場、手すりの改修工事が行われます。階段や手すりの状況は安全面から気になっていることもありましたが、他の施設改修より優先させることにしました。2学期には階段の昇り降りが気持ちよくなることでしょう。

この工事の関係で、休み中、校舎内への立ち入りできません。そのため、

8月6日（日）に全校登校日「平和の集い」を計画しておりましたが、これを取り止め7月20日（木）終業式当日に平和の集いを行うこととします。

夏の図書開館日等、校舎内の出入りを伴う活動は原則行うことができません。ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

保護者の皆様、地域の皆様 ありがとうございます

1学期も残りあとわずかになりました。何よりうれしいことは、児童全員が無事終業式を迎えられそうなことです。子どもの安全が脅かされることが多くなった今日、学校の力だけではどうにもならないことが多くなり、保護者、地域の方の支援を必要としています。幸いにも船越小学校は保護者、地域の方たちの絶大なる支援をいただくことができ感謝しています。毎日、朝から「おはようございます」の声が地域のあちらこちらでこだましています。「人間関係ができてきたから注意もしやすくなった」との声もいただきました。夏休み期間中も引き続き子どもたちを見守ってくださいますようよろしくお願いいたします。また、何かお気づき等がありましたら、遠慮なく学校にお知らせください。